



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

第5回「森の草本類の特徴と草刈りを学ぼう②(機械刈り・座学)」

日時：令和4年9月10日(土) 9:30～12:30

会場：技術技能講習センター豊玉会場(豊玉北4-1-6-2F)

今回の講座の流れ

公共の緑地で、刈払機を使用した草刈りを行うために必要となる「法令に基づく安全衛生教育」として、刈払機種、使用上の確認・注意事項、安全管理、振動障害、関係法令を学びました。

各プログラムの様子



講義の様子



講義の様子



道具の紹介



刈払機に関する知識



10月の実習で使用する刈払機の機種を中心に、刈払機の種類や構造、安全装置や緊急離脱装置の確認、刈払機の選定について学びました。

刈払機を使用する作業に関する知識

刈払機を取り扱う上で大切な準備や作業の確認・注意事項を学びました(服装、現地調査の徹底、刈払機の手扱い、運搬時の注意点、機械始動の手順と作業の基本動作、安全管理、刈刃の接触とキックバックの防止策、ナイロンカッターの使用上の注意等)。

刈払機の点検及び整備に関する知識

機械を最良の状態で使用し、長持ちさせるポイントとして、点検と整備の必要性について学びました。毎日・毎週・毎月の三段階で行う点検と整備が、常に安心・安全な作業につながる事が分かりました。

振動障害及びその予防に関する知識

振動障害の症例と予防方法について学びました。

関係法令

自身の安全を確保するために、加入している保険内容を確認し、そのうえで、活動者自身が自立的なリスクマネジメントを行う重要性について確認しました。

ねりまの森維持管理コースについて

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

今回のキーワード



安全に作業を行うために

刈払機は、短時間で効率よく草刈りができる優れた機械ですが、小さなミスが大きな事故につながるリスクがある事を忘れてはなりません。自身の服装や周囲への注意喚起、情報の共有や共通の合図、作業手順等を仲間と徹底しましょう。作業が慣れてくると、確認が怠りがちになり、事故の発生率が上がります。念には念を入れて確認することが大切です。

森でみつけた!



隠れた切り株



一見、平らかで障害物がないように見える草地でも、草刈り前は作業場所の草をかき分けて確認しましょう。段差や、切り株、木の根、昆虫の巣、落枝、石、ごみなどが隠れています。取り除けるものは除去し、草刈りの障害になるものは作業前に全員で確認することが大切です。